インストラクショナル・デザイン II (単位数: 2)

担当教員:		鈴木	克明·北村士朗
必修/選択		必修	効果的で、効率的で、魅力的な研修とは?「教えない」研修とは?目標達成のための「最
開講年次	1前		終手段」と研修を位置づけ、学んだことがわからないままに終わってしまう事態からの脱皮を図る。何をどう教える(学ぶ)かだけでなく、なぜ教える(学ぶ)必要があるのかを徹底的に問い、業務直結型で組織に貢献できる研修設計をめざす。
	1後	•	
	2前		
2後		<u> </u> -	
前提科目 ————————————————————————————————————		=	eラーニング概論、インストラクショナル・デザイン I
評価の方法			[導入課題]「研修の現状をチェックして改善策を考えよう」(20点) 任意の研修事例をひとつ取り上げ、その概要や現状をチェックリストに記入して提出する。
			[課題1]「研修発注書をつくる」(20点) 任意の研修事例をひとつ取り上げ、研修委託先に向けてどんな研修を提案して欲しいか を述べた研修発注書を作成し提出する。
		法	[課題2]「研修企画提案書をつくる」(20点) 研修委託先(あるいは内製を依頼された組織内の研修部門)の担当者として、課題1で作成した「研修発注書」の内容を実現するための研修企画提案書を作成し提出する。
			[課題3]「研修評価計画書をつくる」(20点) 研修部門の上長(あるいはそれに相当する人物)に提出することを想定し、研修評価計 画書を作成し提出する。
			[課題4]「貢献構想メモをつくる」(20点) 研修担当部門が組織全体に貢献できるようになり、受講者個人が研修担当者としての専門性を高めることができるようになるためのアクションプラン(行動計画)を「貢献構想メモ」としてまとめ、提出する。
内容			第1回 研修設計へのシステム的アプローチ
			第2回 教えないで学べる研修を着想する
			第3回 導入課題を提出する
			第4回 研修のメリットを主張する
			第5回 行動変容として研修の成果を定める
			第6回 課題1「研修発注書」を提出する
			第7回 研修の学習成果を定める
			第8回 研修以外の実現方法を検討する
			第9回 教えないで学べる研修を設計する
			第10回 課題2「研修企画提案書」を提出する
			第11回 研修の評価・改善を計画する
			第12回 行動変容をモニタリング・支援する
			第13回 課題3「研修評価計画書」を提出する
			第14回 研修部門をアピールする
			第15回 研修設計の専門家として成長する+課題4「貢献構想メモ」を提出する